

資料Ⅲ－3

供給者に対する意見照会結果

質問事項	割合(%)
<b>●全分野共通</b>	
政府調達に関する年度当初の提供情報の活用	
a 有益であり、積極的に活用している	37.5%
b 時々活用している	35.0%
c 活用していない	27.5%
個々の調達案件に関する情報提供方法の利便性等	
a 十分満足できる	24.4%
b ある程度満足できる	68.3%
c 不満足である	7.3%
「政府調達における我が国の施策と実績」について	
a 満足しており、活用している	10.0%
b ある程度満足している	90.0%
c 不満足	0.0%
調達実績一覧のホームページ掲載について	
a 満足しており、活用している	5.4%
b ある程度満足している	56.8%
c 不満足	5.4%
d 掲載されていることを知らなかった	32.4%
随意契約、指名競争の縮減による競争性、透明性の確保	
a 十分確保されている	17.1%
b ある程度確保されている	80.5%
c 確保されていない	2.4%
応札期間の延長について	
a 便益を受けている	40.5%
b 特に便益を受けていない	59.5%
資料提供招請・意見招請の基準額(80万SDR)	
a 適当である	86.1%
b 引下げが必要である	11.1%
c 引上げが必要である	2.8%
総合評価落札方式について	
a 適正な評価、競争性の確保に十分寄与している	14.7%
b " にある程度寄与している	76.5%
c " に寄与していない	8.8%
苦情処理制度活用の検討	
a 苦情処理制度の活用を検討したことがある	4.9%
b 苦情処理制度の活用を検討したことがない	70.7%
c 苦情処理制度について十分な知識を持ち合わせていない	24.4%

質問事項	割合(%)
<b>●電気通信・医療技術分野共通</b>	
資料提供招請・意見招請の基準額（38.5万SDR）	
a 適当である	91.7%
b 引下げが必要である	4.2%
c 引上げが必要である	4.2%
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法	
a 適当である	47.8%
b 概ね適当である	52.2%
c 適当でない	0.0%
総合評価落札方式の導入基準額（38.5万SDR）	
a 適当である	87.0%
b 引下げが必要である	13.0%
c 引上げが必要である	0.0%
技術仕様の公平性	
a 措置どおりに行われている	25.7%
b 概ね措置どおりに行われている	74.3%
c 措置どおりに行われていない	0.0%
<b>●その他</b>	
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法 (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	25.0%
b 概ね適当である	65.0%
c 適当でない	10.0%
総合評価落札方式の導入基準額（80万SDR） (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	71.4%
b 引下げが必要である	23.8%
c 引上げが必要である	4.8%
「情報システムに係る政府調達制度の見直しについて」及び「情報システムに係る政府調達の基本指針」による取組み	
a 適当である	27.3%
b 概ね適当である	59.1%
c 適当でない	13.6%

※クエスチョンアヘは計41者が回答。

※四捨五入により百分率の合計が100%にならない場合がある。

※設問に無回答の者は除いた。